

## スマホライクな縦型デザインの Vlog カメラ“PowerShot V10”を発売 簡単操作で高画質・高音質な映像表現と自由な撮影スタイルを提案

キヤノンは、初めてカメラを使用するユーザーでも気軽に本格的な動画撮影を楽しめる Vlog<sup>※1</sup> カメラ“PowerShot V10”を2023年6月下旬に発売します。



PowerShot V10 (シルバー/ブラック)



スマホライクな縦型デザイン



手軽に持ち運べるコンパクトボディ

“PowerShot V10”は、コンパクトボディに、高画質・高音質を実現する 1.0 型 CMOS センサーや、大口径マイクを搭載し、スマホと連携することで、多様な撮影シーンに対応する Vlog カメラです。近年、スマホや SNS などの普及により、映像からあらゆる情報に触れるライフスタイルが定着し、映像を活用したコミュニケーションがより一層活発になっています。このような背景から、キヤノンは新たに「PowerShot V シリーズ」を立ち上げ、その第 1 弾として Vlog カメラ“PowerShot V10”を発売することで、高まる動画撮影のニーズに応えます。

### 1. 初めてカメラを使用するユーザーでも簡単に扱えるコンパクトな Vlog カメラ

小さめのカバンなどにも収納しやすい大きさ約 63.4mm (幅) × 34.3mm (奥行き) × 90mm (高さ) のコンパクトボディを実現しています。スマホユーザーに馴染みのある縦型デザインと、表示情報を最小限に抑えることで、分かりやすくシンプルな UI (ユーザーインターフェース) を採用し、初めてカメラを使用するユーザーでも簡単に本格的な動画撮影を楽しむことができます。さらに、手持ちでの撮影に加え、カメラアングルの調整ができる内蔵スタンドを搭載することで、様々な角度からの置き撮りが可能です。

### 2. 自分好みの撮影を実現する高性能かつ多彩な動画撮影機能

1.0 型・有効画素数約 1310 万画素<sup>※2</sup>の CMOS センサーと映像エンジン DIGIC X により、高画質な 4K/30P、フル HD/60P 動画撮影<sup>※3</sup>に対応しています。また、レンズ設計の最適化により、手持ちでの自分撮りに適した焦点距離約 19mm 相当<sup>※4</sup>のワイドな画角と、歪みを抑えた自然な描写を両立しています。さらに、人物の顔を自動検出して追尾する顔追尾 AF や、「オート動画」、「美肌動画<sup>※5</sup>」、「手ブレ補正動画<sup>※5</sup>」などの動画モードを搭載し、カメラ初心者でもクオリティの高い、自分好みの映像を撮影することができます。

### 3. 無線ライブ配信やウェブカメラに対応し 1 台でマルチに活用可能

スマホなどで使用可能なアプリケーション「Camera Connect」と連携することで、シンプルなフローで「YouTube」などでの無線ライブ配信や、スマホからのリモート撮影などを行うことが可能です。また、PC と USB で接続することで高画質なウェブカメラとしても使用でき、1 台でさまざまな用途に活用することが可能です。

※1. ビデオブログ (Video blog) の略。

※2. 動画撮影時。総画素数約 2090 万画素。画像処理により、有効画素数が減少することがあります。

※3. 4K/30P は 4K UHD (29.97fps/25.00fps)、フル HD/60P はフル HD (59.94fps/50.00fps)。

※4. 動画撮影時、35mm 判換算において。静止画撮影時は 35mm 判換算で焦点距離約 18mm 相当。

※5. 動作条件は 3 ページ 2. の※1、※2 に記載。

製品名	希望小売価格	発売日
PowerShot V10	オープン価格	2023 年 6 月下旬

- 
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-07-9224
  - コンパクトデジタルカメラホームページ : [canon.jp/cdc](https://canon.jp/cdc)

## 〈“PowerShot V10”の主な特長〉

### 1. 初めてカメラを使用するユーザーでも簡単に扱えるコンパクトな Vlog カメラ

- 小さめのカバンなどにも収納しやすいコンパクトボディと、高画質・高音質を実現する優れた撮影性能を両立。
- サイズ約 63.4mm（幅）×34.3mm（奥行き）×90mm（高さ）、質量約 211 g の小型・軽量設計を実現。
- スマホユーザーに馴染みのある縦構えの持ち方でアスペクト比 16:9 の横型の動画が撮影可能<sup>※1</sup>。
- -30度から+30度の範囲で角度の調整が可能な内蔵スタンドを搭載し、三脚などを使わなくても置き撮りを行うことが可能。
- 利き手問わず左右どちらの手でも操作しやすいデザインを採用。
- 表示情報を最小限に抑え、スマホユーザーにも分かりやすくシンプルな UI（ユーザーインターフェース）を採用し、簡単な操作性を実現。

※1. 横構えの持ち方で、9:16 の縦型の動画も撮影可能。



置き撮りを可能にする内蔵スタンドを搭載

### 2. 自分好みの撮影を実現する高性能かつ多彩な動画撮影機能

- 1.0 型・有効画素数約 1310 万画素の CMOS センサーと映像エンジン DIGIC X を搭載し、高画質な 4K/30P、フル HD/60P 動画撮影に対応。夜間や室内の暗いシーンでも、ノイズの少ない動画を撮影することが可能。
- クリアな音声の録音が可能で大口径マイクを搭載。
- レンズ設計の最適化により、動画時には手持ちでの自分撮りに適した、35mm 判換算で焦点距離約 19mm 相当のワイドな画角と歪みを抑えた自然な描写を実現。
- レンズ交換式デジタルカメラ EOS で採用されている色再現技術を用いて、肌のなめらかな階調を実現。
- 人物の顔を自動検出して追尾する顔追尾 AF を搭載。
- 指定したフレーム内の被写体にフォーカスをあわせるフレーム指定 AF モードを採用。商品レビューなどの撮影にも好適。
- 動画撮影時に肌をなめらかに補正する、キヤノン初搭載の「美肌動画<sup>※1</sup>」をはじめ、「オート動画」、「手ブレ補正動画<sup>※2</sup>」、「マニュアル露出動画」モードを搭載。カメラ初心者でもシーンにあわせて簡単に撮影モードを設定することが可能。
- キヤノン初搭載となる動画カラーフィルターを採用<sup>※3</sup>。14 種類のフィルターに対応し、シーンや好みにあわせて設定することが可能。
- 14 種類のアスペクトマーカの設定に対応。撮影時にマーカを表示することで、動画を投稿する SNS などのプラットフォームにあわせた構図で撮影することが可能。
- 静止画撮影モードを搭載。SNS の動画のサムネイルなどに活用することも可能な高画質な静止画を実現。



暗いシーンでもノイズが少ない動画を実現



自分撮りに適した画角を採用



全方位からクリアな音声を録音

※1. 「美肌動画」は撮影上限時間が短くなります。湿気の多い場所において「美肌動画」に設定し、4K/30P で撮影すると、カメラレンズ内部に結露が発生することがあります。

※2. 「手ブレ補正動画」設定時は、撮影範囲が狭くなります。

※3. グラデーションがなめらかに再現できない場合や、ノイズが発生する場合があります。

### 3. 無線ライブ配信やウェブカメラに対応し1台でマルチに活用可能

- Wi-Fi/Bluetooth®によるスマホとの無線接続に対応※1。
- キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」により、シンプルなフローで無線ライブ配信や、クラウドサービスへの画像データのアップロード、スマホからのリモート撮影などを行うことが可能。
- 「Camera Connect」でカメラの Wi-Fi 設定が可能。自宅の Wi-Fi ルーターやスマホのテザリングでもインターネット回線接続が可能※2。
- 「YouTube」、「Facebook」などのライブ配信プラットフォームに対応※3。少ないステップで簡単なライブ配信を実現。
- カメラからキヤノンのクラウドサービス「image.canon」へのデータの自動転送に対応。「image.canon」では、「Google ドライブ」や「Frame.io」などのウェブサービスへデータを転送でき、撮影した動画や静止画を手軽にバックアップし、編集することが可能※4。
- UVC (USB Video Class) /UAC (USB Audio Class) に対応し、USB で PC と接続するだけでウェブカメラとして使用することが可能※5。



簡単な設定で気軽にライブ配信が可能

- ※1. Bluetooth Low Energy 技術に対応。以降の表記においては Bluetooth と記載。Bluetooth 機能の動作条件は、接続機器が iOS/Android™:Bluetooth 4.0 以上を搭載するデバイスです。ただし、上記の動作条件を満たす機器であっても、機種によっては、Bluetooth 接続ができない場合があります。Bluetooth 接続ができない場合でも、機器と Wi-Fi 接続による画像の転送、リモート操作は可能です。なお、Bluetooth 接続には、事前にカメラと携帯端末をペアリングしておく必要があります。カメラと携帯端末の Wi-Fi や Bluetooth での接続には、キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」のインストールが必要です。
- ※2. 事前に「Camera Connect」のアプリをスマホにダウンロードする必要があります。Bluetooth 接続時に利用が可能です。
- ※3. ライブ配信プラットフォームでのライブ配信は、予告なく変更・停止・終了することがあります。最新の要件についてはライブ配信プラットフォームへご確認ください。第三者が提供するサービスについて、キヤノンはいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。ライブ配信中にカメラでの動画記録はできません。また、カメラ内のメモリーカードへの記録は行われません。
- ※4. 自動転送には、事前登録した Wi-Fi アクセスポイントに接続していることが必要です。
- ※5. カメラ内のメモリーカードへの記録は行われません。縦表示のウェブカメラとしては非対応。

#### 〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。<https://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/powershot/v10/>

#### 〈ご参考：環境に配慮した取り組み〉

キヤノンは、従来の包装設計思想を維持しながら、包装材の脱プラスチック対応※1を進めています。“PowerShot V10”では、製品等を包む袋に植物由来の不織布や紙素材を使用することで、使い捨てのプラスチック素材を削減し、環境への負荷を軽減しています※2。

- ※1. ラベル、コーティングや接着剤に用いる材料は除く。
- ※2. 一部オプション製品においては、包装材にプラスチック素材を使用しています。



包装材の脱プラスチック化を推進

- \* USB Type-C™および USB-C™は USB Implementers Forum の商標です。
- \* Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, WPA™, WPA2™および Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- \* Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- \* IOS は、米国およびその他の国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- \* Android, Google ドライブは Google LLC の商標です。
- \* Frame.io はアメリカ合衆国およびその他の国々における Adobe (アドビ社) の商標または登録商標です。
- \* その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。